

第九十回
帝國議會
貴族院

食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)特別委員會議事速記録第三號

付託議案

○食糧緊急措置令(承諾ヲ求ムル件)

昭和二十一年九月十日(火曜日)午前
十時三十八分開會

○委員長(伯耆黒田清君) 是ヨリ昨日
ニ引續キ委員會ヲ開キマス

○子爵秋田重季君 先達テカラ新聞
デ、又世間ガ非常ナ關心ヲ持ツテ居リ
マスル小麥粉ノ中毒事件ニ對シテ、昨
日御答辯ガアリマシタガ、ドウモハッ
キリシタ御答辯ガアリマセシ、政府
トシテ餘リニソレニ對シテ誠意ノナイ
ヤウナ御答辯ヲ拜聴シタノデス、又農
者ニ對シテノ處置ニ對シテ、ドウ云フ
ヤウナ結果ヲ得ラレタカ、ソレニ付テ
モ御答辯ヲ願フタノデスケレドモ、ド
ウモ調査シテモ分ラヌト云フヤウナダ
ケノ御答辯デ、甚ダ不満足ヲ感ジテ居
リマシタノデ、ソレ以上申上ゲルノ
モ、却テ不愉快ヲ感ジタヤウナ次第ナ
ノデアリマス、デアリマスカラシテ、
重ネテノ御質問モ致サナカッタノデア
リマス、今朝ノ新聞ヲ見マス、又荻
窪方面ニ中毒ラシイヤウナ記事ガ出テ
居リマシテ、段々ト世間ニ粉ト云フモ
ノニ對スル不安ヲ感ジサセルヤウナ狀
況ニナツテ來タノデヤナイカト思フノ
デアリマス、ソレデ粉ヲ食ベナガラ、
ドウモ此ノ粉ハ中毒ヲ起シハシナイカ
ト云フヤウナ不安ヲ持ツテ、家ノ者モ
食ベテ居ルヤウナ始末デアリマシテ、
或所デハ粉ヲ配給サレテ、是ハ大丈夫
カト言ツテ聽ケバ、先ヅ犬ニ食ベサセ
テ御覽ナサイト云フヤウナコトヲ言ツ
テ居ルヤウナ配給所モアルヤウニ聞イ

テ居ルノデアリマス、是デハ粉ニ對シ
テ非常ナ不安ヲ懷キナガラ食事ヲシテ
行クヤウナ結果ニナルダラウト思フ、
又サウ云フ不安ヲ持ツテ食ベタラ、必
ズ腹痛ヲ起スカ、下痢ヲ起スカ、中接
ヲ起スニ決ツテ居ルノデアリマス、サ
ウ云フヤウナ狀況デアリマスカラ、モ
ウ少シ政府ガ誠意ヲ以テ御研究ヲ願ハ
ナケレバ、折角主食ノ代用トシテ粉ヲ
配給サレルノニ、斯ウ云フヤウニ不安
ヲ持チナガラ、心配シナガラ食事ヲ攝
ツテ居ルト云フヤウナコトハ、非常ニ
健康上、衛生上、面白クナイと思フノ
デアリマス、モウ少シ徹底シテソレヲ
ハツキリトシテ戴イテ、ソレニ對スル
國民ノ不安ヲ取除イテ戴キタイと思フ
ノデアリマスガ、十分ナル御調査ヲ願
ヒタイモノと思フノデアリマス、重ネ
テシツコク御尋ネスルヤウデアリマス
ルケレドモ、又今朝ノ新聞ヲ見マシテ
一層斯ウ云フ感ヲ懷イタモノデスカ
ラ、重ネテ又御伺ヒスル次第ナンデ
アリマス

○政府委員(梶見義男君) 御答へ申上
ゲマス、其ノ前ニ御斷リ申上ゲテ置キ
タイノデスガ、私ノ昨日ノ御説明ガ不
十分デアリマシテ、秋田サシノ御不滿
ヲ買ヒマシタコトハ誠ニ遺憾ニ存ジマ
ス、實ハ政府ト致シマシテモ勿論東京
都、警視廳、其ノ他最近デハ御承知ノ
ヤウニ檢査局迄派出シマシテ、總動員
デ調査ヲ致シテ居ルノデアリマス、偶
偶マダ結果ガ分リマセヌ爲ニ其ノコト
ヲ申上ゲタ譯デアリマス、何ト致シマ
シテモ御話ノヤウニ、事主要食糧ノ間
題デアリマスカラ、消費者ガ不安ヲ懷
クヤウナコトニナリマスト、是又御話
ニナリマシタヤウニ、影響スル所ガ極
メテ甚大デアリマスカラ、各方面總動
員デ努力ヲ致シテ居ル次第デアリマシ
テ、尙引續イテソレハ致ス積リデ居リ
マスノデ、其ノ點ハドウゾ御了承ヲ願
ヒタイ、ト思ヒマス、オレカラ獲テ
問題デアリマスカ、是モ私此處ノ參
直前ニ報告ヲ受ケタノデアリマスガ、
此ノ前ノ粉デ中毒症狀ヲ起シタ人ノ
中デ、申告漏レト申シマスカ、調査ノ
漏レテ居ル人ガ追加サレタト云フ報
告ヲ受ケテ居リマス、尙殘ツテ居リマ
スル小麥粉ノ回收ニ付キマシテ、一部
ハ黑比壽ノ倉庫ニアツタノデアリマス
ガ、ソレハモウ押ヘテ調査ラシテ居リ
マス、尙消費者ノ方ニ廻リマシタモノ
ニ付テ一部回收漏レノモノガアツタヤ
ウデアリマスガ、警察署長、ソレカラ町
會長、是等ノ人ガ兩方デ回覽板ヲ廻シ
テ、殘ツタモノヲ全部回收スルヤウニ
此ノ前モヤツテ居ッタノデアリマス
ガ、尙殘ツテ居ル向モアルカトモ存ジ
マシテ、サウ云フ風ナ手配モ取ツテ
居リマス、併シ御話ニナリマシタ根本
的ノ調査ト云フ點ニ付キマシテハ、手
ヲ緩メズニ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ、アチラコチラノ方面カラ調査ヲ進
メテ一日モ早クハツキリシタ結果ヲ得
タイト云フノデ焦慮シテ居ルヤウナ狀
態デアリマス、ドウゾ其ノ點御了承ヲ
願ヒタイト思ヒマス

○子爵秋田重季君 先程申上ゲマシ
タ通り、市民ガ非常ニ不安ヲ持ツテ食
事ヲシテ居ルノデアリマスカラ、一日
モ早ク御調査願ヒマシテ、其ノ不安ヲ
一ツ取除イテ戴クヤウニ、ハツキリシ
タ發表ヲシテ戴キタイと思フノデアリ
マス、サウデナイト何時迄モ不安
ヲ持ツテ食事ヲシナケレバナラヌト云
フヤウナコトニナリマスカラ、ドウゾ
其ノ點十分御注意ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス

○政府委員(梶見義男君) 此ノ勅令ニ
基キマシタ青果物ノ省令ハ、是ハ委員
會ノ際ニモ御説明申上ゲマシタヤウ
ニ、水産物及ビ青果物ニ付キマシテ、
三月及ビ四月ニソレハ統制規則ヲ公
布致シマシタ、其ノ準備ヲ地方廳ト能
ク打合セヲ致シマシテ、現在其ノ進行
途中ニアルノデアリマス、其ノ主ナ内
容ヲ申シマス、生鮮食料品ニ付キマ
シテハ、根本ノ狙ヒハ統制ノ爲ノ統制
ニ應スルコトノナイヤウニ、ウマク出
荷ノ點デアリマスガ、從來ハ例ヘバ農
業會ナラ農業會ト云フ風ニ、一ツノモ
ノニ決メテ居ッタノデアリマスガ、必
ズシモソレニ拘泥セズニ、昔郡區域デ
青果物ノ出荷組合ト云フモノガゴザイ
マシタガ、サウ云フヤウナ纏ツタ所デ
出荷組合ヲ指定シテ、勿論全體ノ計畫

ハ自治的ニ農業會ガ出荷計畫ト云フモ
ノヲ立テテ參ルノデアリマスガ、併シ
其ノ實行ニ當リマシテハ、必ズシモ農
業會ト云フコトニ限ラズ、例ヘバ廣イ
區域ノ中デ蔬菜ノ集散地ト云フモノ
ガ、其ノ廣イ區域ノ一部ニ、例ヘバ二
箇町村デアリマスカ、三箇町村デア
リマスカ、斯ウ云フ風ニ纏ツタ所デ
ハ、必ズシモ其ノ全區域ヲ含メタ農業
會ノ支部ト云フヤウナモノデナクテ
モ、ソレ等ノ町村ノ區域デ出荷組合ガ
從來カラゴザイマスノデ、サウ云フヤ
ウナモノヲ出荷團體ニ指定スルト云
フ風ナコトヲ致シマシテ、出荷ノ活潑
化ヲ圖シテ行キタイト考ヘテ居ルノデ
アリマス、ソレカラ荷受ノ方デアリマ
スガ、此ノ荷受ノ方モ必ズシモ、東京
デ申シマス、東京都ノ青果物統制會
社ト云フモノガ戰爭中ハ唯一ノ荷受團
體デゴザイマシタケレドモ、必ズシモ
ソレニ限ラナイデ、或ハ農業會自體ガ
荷受團體トシテ生産地カラノモノヲ其
ノ儘自分ガ荷受ケラヌルト云フヤウナ
コトモ認メ、更ニ又ハ出荷ト同様
ニ、荷受機關ノ指定モ總テ地方長官ニ
一任ハシテ居リマスカレドモ、農業會
ガ直配所ヲ持ツテ、例ヘバ全國農業會
ガ東京都ニ直配所ヲ設ケテ、サウシテ
直接消費者ニ賣ルト云フヤウナ、從來
ト違ヒマシテ、統制ノ爲ノ統制ニ應
ズニ、出來ルダケ產地ノ出荷ヲ殖ヤ
シ、又消費地ヘノ入荷ヲ促進スルト云
フヤウナ見當デ以テ進メテ居ルノデア
リマス、水産物ノ統制ノ方モ大體同様
ノ狙ヒ方デアリマスガ、此ノ方ハ寧ロ

統制と同時に、御承知ノ油ノ「リンク」制
ト云フモノヲ相當重要視シマシテ、
即チ主要ナル水揚港ニ水揚セラレマス
ル魚ト油等ヲ「リンク」致シマシテ、此
ノ油ハ是モ御承知ノヤウニ聯合軍カラ
最近ハ月々一萬キロ以上ノ油ヲ賣ッ
テ居ルノデアリマスガ、此ノ油ヲ「リ
ンク」致シマシテ、水揚港ニ於テ水揚
セラレタモノニ付テハ、計畫ノ大消
費地及ビ地元ノ消費都市ト云フ所ニ對
スル配給計畫ト云フモノハ中央ト地方
ト相談ノ上デ立テテ居ルノデアリマス
ガ、其ノ根本ハ飽ク迄油ノ「リンク」
或ハ資材ノ「リンク」ト云フモノデ出荷
ヲ制約致シマシテ、生産ヲ助長致シマ
シテ、ソレヲ正規ノ「ルート」デ流シテ
行クト云フ狙ヒヲ以テ進メテ居ルノデ
アリマス、尙色々改善ノ餘地ガアルカ
ト思ヒマスガ、只今ノ所ハサウ云フ方
法デ進メテ居リマス

○子爵土屋直君 此ノ水産物關係デ
大體設備ノ出來テ居ル所デハ、相當ニ
油トノ「リンク」制其ノ他デ以テウマ
統制ガ行渡ツテ居ルヤウニ思ヒマス
レドモ、一般ノ小サナ漁業ヲシテ居
マス、油ノ消費シナイヤウナモノハ、
非常ニ是ハ農産物以上ニ關ガ旺盛ニナ
ツテ居ルヤウニ思ヒマスガ、其ノ方
統制ニ付テ何カ御考ガゴザイマセウ
カ

○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申上
マス、御話ノヤウニ油デ「リンク」ス
ルモノニ付テハ、是ハ特ニ大量ノ水
産物ニ付テハ可能デアリマスルシ、又
或意味ニ於テハ非常ニ歡迎モサレテ居
ルノデアリマスガ、併シ小サイ、特ニ沿
岸ノ漁業ト云フモノニ付テハナカ
此ノ統制ハ困難デアリマシテ、御話ノ
ヤウナ點ガアラウカト存ジマス、從ツ

テ是等ノモノヲ總テ引括メテ統制スル
コトガ宜イカ思ヒカト云フヤウナ根本
的ノ問題モアラウカト存ズルノデアリ
マスガ、從ツテ此ノ統制ハ非常ニ困難
デアラウカト考ヘマス、ソコデ之一
面放任シテ置イテ御話ノヤウナ色々弊
害ガ出テ參ルコトモ豫想サレルノデア
リマシテ、是等ハ結局御承知ノ漁業會
ト云フヤウナモノガアルノデアリマス
ガ、サウ云フヤウナ所デ共同販賣ヲサ
セルト云フヤウナ自治ノ方向ニ持ッ
テ行キマシテ、ソレニ依ツテ出來ルダ
ケ一般ノ統制ノ枠ヲ亂サナイヤウニ進
メテ行ク、指導シテ行クト云フ以外ニ
ハ現在ノ所ナカ、ムツカシイノヂヤ
ナイカ、又之ヲ演レナク給ヒ取ツテ、
サウシテガシヨク終メニ統制ノ中ニ入
ルト云フコトニ付キマシテモ一面弊害
モ考ヘラル、コトト思ヒマス、
只今ノ所ハサウ云フ方法デ行クノガ宜
イノヂヤナイカト斯様ニ實ハ考ヘテ居
ル次第デアリマス

○子爵土屋直君 只今左様ナ小サナ
漁業ニ關シマシテハ、漁業會ノ手ニサ
ヘモ渡ラズニ關ニナツテ居リマシテ、
特ニ販賣組合ノヤウナモノニハ全然廻
ツテ來ナイヤウナ状態ニアリマスガ、
組合トカ漁業會トカノ事業ヲ御監督ニ
ナツテサウシテ關ヲ防止サレテ、殊ニ
國內ノ湖畔デ行ハレテ居ルヤウナ漁業
ハ、相當地方ノ物價ニモ影響シ又青果
物ノ供出ノ方ニモ影響シテ居ルヤウニ
思フノデアリマス、別ニ政府トシテハ
ソレヲ統制強化スルト云フヤウナ御考
ハナイノデアリマスガ

○政府委員(補見義男君) 只今申上デ
マシタヤウニピンカラキリ迄總テ網ノ
目ニ掛ケテ統制スルト云フ點ニ付テ
ハ、尙考慮ヲ要スル點ガアルカト思ヒ

マスガ、併シ御話ニナリマシタヤウナ
風ニ、他ニモ大キナ影響ヲ持ツト云フ
モノニ付テハ、是ハ指導ニ依ツテ統制
ヲ正當ノ「ルート」ニ上セルヤウニシナ
レバ、一般ノ方面カラ見テ、公平感ノ觀
點カラ申シマシテモ、却テ惡イ弊害ガ
アラウト思フノデアリマス、實ハ今湖
面ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、海
上ニ付キマシテモサウ云フ事例ガゴザ
イマス、本當ニ小サイ手釣等デヤツテ
居ルモノハ別ト致シマシテ、仲賣仲買
ガ振拂ツテ、サウシテ一消費都市ノ一
部ニ……例ヘバ料理屋トカサウ云フ方
面ニ持ツテ行ク、其ノ爲ニ非常ニ惡イ
影響ヲ與ヘテ居ルト云フ事例モアルノ
デアリマス、斯ウ云フモノニ付キマシテ
ハ地方ノ監視點ガ沖ヘ出マシテ、サウ
云フモノヲ取締ルトカ、色々具體的ニ
ハサウ云フヤウナ不正ナ、又一般ニ惡
イ影響ヲ與ヘルモノニ對スル取締ヲ實
ハ致シテ居ルノデアリマスガ、方法ト
シテハサウ云フ方法デ參ル積リテ居
マスルケレドモ、併シ本當ニ小サイ手
釣ノモノ迄統制スルト云フコトハ、是
ハモット考ヘル餘地ガアルノヂヤナイ
カ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○侯爵前田利建君 實ハ昨年度ノ供出
ガ何故不振デアツカト云フヤウナ方面
ノ御説明ハ、昨日モゴザイマシタシ、
其ノ他方々デモ言ハレテ居リマスノ
デ、私達大體了解シテ居リマスガ、去
年ノ御話ヲ例ニ取リマシテ考ヘテ見
テ、實際問題トシマシテ、其ノ供出ノ
配給トカ、或ハ表面向キニ觀キマス全體
ノ生産高ト云フヤウナモノニ付テモ、
相當差額ガアリ、其ノ所謂アトノモノ
ガドウ云フ経路デ、ドウナツタカト云
フ方面ノコトヲ御知ラセ戴ケレバ大變
結構ダト思フノデアリマス、例ヘバ實

際ニ於テ、御承知ノヤウニ米ナラ米ノ
間相場ガ、今月ハ幾ラニナツタ、來月
ハ幾ラニナツタト云フコトガ半公然ト
行ハレテ居ルト云フコトハ、相當廣汎
ニ横流レガ行ハレテ居ルト云フコトヲ
御考ニナラナケレバナラスノデアリマ
ス、是ガ事實ニ於テ大シテ餓死者モ出
ナカツタト云フコトハ、進駐軍ノ放出
ニ依ルコトモ多大ニゴザイマセウガ、
實際ニ於テ、サウ云フ表面向キデナイモ
ノガ相當ニ行渡ツテ居タト云フ實情
アルノヂヤナイカト思ハレルノデアリ
マス、從ツテ去年ノ裏ノ面ノ實情ト、
ソレニ對スル例ヘバ此ノ間モ、今年ノ
分ニ付テ、一定ノ配給ヲシタ後ハ自由
販賣ニスルト云フヤウナ説ガアリマシ
タガ、尤モ是ハ御否定ニナリマシタケ
レドモ、是ナシカモ多少異ノ意味ヲ合
理化シヨウトスルヤウナ精神デヤナイ
カト思フノデアリマス、ソレヲ御否定
ニナツタ場合ニ於テ、サウ云フ裏ノ途
ト云フモノヲ防グ意味ニ於テ具體的ナ
方法デナシニ去年ニ比シテ大局的ニ今
年ノヤリ方ノ御考ヲ承リタイ

○政府委員(補見義男君) 昨年ノ供出
殘ノ米ノ行方ニ付テノ御考デアリマス
ガ、是ハ具體的ニ數放ガドノ程度ドノ
方面ニ流レタカト云フコトニ付キマシ
テハ、實ハ正確ニ私共摺ミ得ナイノデ
アリマスガ、併シ想像セラレマスコト
ハ、又事實地方ノ農民、或ハ指導者ノ
人々ノ言ツテ居リマスルコトヲ綜合
シ、又我々ガ目撃致シテ居リマスル點
ヲ綜合シテ申上ゲマス、先ヅ第一ニ
農家ガ相當食込シタト云フコトハ事實
デアリマス、戰爭中ハ御承知ノヤウニ
一部警察權ノ發動迄致シマシテ、供出
割當ノ完遂ニ突ツシタノデアリマス
ガ、從ツテ米ト云フモノハ必ズ政府ニ

供出割當ハ出スベキモノデ、又出サナ
ケレバナラヌモノデト云フ觀念ガ農家
ノ間ニハ相當根強ク入ツテ居リマシタ
コトハ事實デアリマス、從ツテ全國的
ニ申シマス、一部ニ供出ヲ完納致サ
ナカツタ農家モアリマスルケレドモ、
全般的ニ申セバ、一昨年ハ三千七百萬
石ノ供出割當ガ「パーセント」ヲ突破
シタノデアリマス、ソレカラ一昨昨年
ハ三千九百萬石ノ供出割當デアリマス
ガ、ソレモ百「パーセント」突破シタ
リマス、斯ウ云フ事態デアリマシテ、
而モ三千九百萬石ノ一昨昨年ノ供出割
當ハ、既ニ二月下旬ニハ九十六「パー
セント」ニナリ、三月上旬ニハ九十
八「パーセント」、中旬ニハ九十九「パ
ーセント」ト云フ風ニ、三月中旬迄完
了致シタノデアリマス、ソレカラ一昨
年ノ三千七百萬石ノ割當ノ場合モ、三
月ノ下旬デハ九十四「パーセント」ト云
フノデアリマシテ、四月下旬ニハ九十
九「パーセント」ニナツテ居ル、結局百
「パーセント」ヲ超ヘタノデアリマス
ガ、斯ウ云フ風ニ供出ハモウ出スベキ
モノデシ、又取ラレルモノダト云フコ
トデゴザイマシタカラ、斯ウ云フヤウ
ニナツタノデゴザイマスガ、併シ終戰
後ノアノ情勢ノ下ニ於テ、而モ統制撤
廢ノ際ガ酒々トシテ現レ、又具體的ニ
ハ生鮮食料品ノ統制撤廢ノ形デ現レタ
ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、モ
ウ戰爭中ノヤウニ米ハ出サナクテモ、
宜イノダト云フヤウナ聲ガ一般ニ擴ガ
リマシテ、農家トシテモ出來ルダケ今
迄米ヲ節約シテ外ノモノヲ食ツテヤツ
テ居ツタ者モ、米ヲドソノ「食ソト云
フ食込ノ事實ハ、是ハ確カニアツタト
思フノデアリマス、從ツテ後カラ供出
ガ遲レテ參リマシタ際ニ、ソナコト

供出割當ハ出スベキモノデ、又出サナ
ケレバナラヌモノデト云フ觀念ガ農家
ノ間ニハ相當根強ク入ツテ居リマシタ
コトハ事實デアリマス、從ツテ全國的
ニ申シマス、一部ニ供出ヲ完納致サ
ナカツタ農家モアリマスルケレドモ、
全般的ニ申セバ、一昨年ハ三千七百萬
石ノ供出割當ガ「パーセント」ヲ突破
シタノデアリマス、ソレカラ一昨昨年
ハ三千九百萬石ノ供出割當デアリマス
ガ、ソレモ百「パーセント」突破シタ
リマス、斯ウ云フ事態デアリマシテ、
而モ三千九百萬石ノ一昨昨年ノ供出割
當ハ、既ニ二月下旬ニハ九十六「パー
セント」ニナリ、三月上旬ニハ九十
八「パーセント」、中旬ニハ九十九「パ
ーセント」ト云フ風ニ、三月中旬迄完
了致シタノデアリマス、ソレカラ一昨
年ノ三千七百萬石ノ割當ノ場合モ、三
月ノ下旬デハ九十四「パーセント」ト云
フノデアリマシテ、四月下旬ニハ九十
九「パーセント」ニナツテ居ル、結局百
「パーセント」ヲ超ヘタノデアリマス
ガ、斯ウ云フ風ニ供出ハモウ出スベキ
モノデシ、又取ラレルモノダト云フコ
トデゴザイマシタカラ、斯ウ云フヤウ
ニナツタノデゴザイマスガ、併シ終戰
後ノアノ情勢ノ下ニ於テ、而モ統制撤
廢ノ際ガ酒々トシテ現レ、又具體的ニ
ハ生鮮食料品ノ統制撤廢ノ形デ現レタ
ト云フヤウナコトカラ致シマシテ、モ
ウ戰爭中ノヤウニ米ハ出サナクテモ、
宜イノダト云フヤウナ聲ガ一般ニ擴ガ
リマシテ、農家トシテモ出來ルダケ今
迄米ヲ節約シテ外ノモノヲ食ツテヤツ
テ居ツタ者モ、米ヲドソノ「食ソト云
フ食込ノ事實ハ、是ハ確カニアツタト
思フノデアリマス、從ツテ後カラ供出
ガ遲レテ參リマシタ際ニ、ソナコト

ナラ早クヤツテ呉レバ宜カッタト云
フヤウナ聲ヲ聞イタコトモ二三止マ
ラナイヤウデゴザイマシタ、併シ全般
的ニ申シマス、農家ノ食込以外ニ關
ニ流レタト云フコトハ、是ハ相當ノ數
量デアッタラウト思フノデアリマス、
此ノコトモ昨日本報サナカラ御話ガア
リマシタヤウニ、當時ノ狀況、特ニ二
月危機、三月危機、四月危機ト云フ風
ニ、一般ニ大恐慌ニ對スル危機説、
食糧危機ノ聲ガ新聞紙デハ勿論報道サ
レ、又其ノ他ノ部面ニ於キマシテモ報
道サレ、政府ニ於テモ或大臣ガ大恐慌
餓ノコトヲ新聞紙報道サレタト云フヤ
ウナコトカラ、一般ニ非常ニ先行不安
ヲ來シタデアリマス、其ノ最モ顯著
ナ例ハ北海道デアリマス、北海道デハ
昨年ハ例年ニナイ凶作デアッタコトハ
事實デアリマスガ、其ノ半面一般のニ
今申シマスヤウナ食糧危機ガ非常ニ深
刻ニ傳ヘラレ、更ニソノ聯ノ進駐ト云
フヤウナコトガ二回ニ亙ッテ相當流布
サレタ、斯ウ云フヤウナコトカラ總テ
ノ人ガ、農家ハ勿論、先行不安デ抱ヘ
込ムシ、消費者ハ消費者デ相當ノ無理
ヲシテモゾレテ買出スル、親戚縁故
ヲ頼ッテ買出スル人々モアリマシタケ
レドモ、併シ又サウデナクテ大量のニ
買出スル、物交ヲヤル、斯ウ云フヤ
ウナコトデ聞、續流レト云フモノガ相
當多カッタラウト思フノデアリマス、
就中集團のノ買出、是ハ最近ハ内務省
ニ於キマシテモ相當強ク現地ノ進駐軍
トモ連絡ヲ取ッテヤツテ戴イテ居リマ
スガ、一時ハ第三國人ノ集團買出シト
云フモノハ目ニ餘ルモノガアッタノデ
アリマス、之ニ依リ買出シト云フモノ
モ相當大キカッタト思フノデアリマ
ス、大體今申シマスヤウナ三ツノ點ニ

互ッテ物ガ流レタト云フヤウナ狀態デ
アリマシタ、ソコデ本年ノ行キ方ヲド
ウスルカ、是ハ昨年ノ色々具サニ經驗
致シマシタ弊害ヲ除去スルコト云フ點
ニ、最モ主力ヲ注ガナケレバナラヌコ
トハ申ス迄モナイ點デアリマシタ、昨
日土屋サンノ御質問ニ對シマシテ、
シマシタヤウニ、農家ニ對シマシテハ
十分ニ保有量ト云フモノヲ認メマシ
テ、其ノ爲ニ昨年ノヤウニ勿論是ハ絶
減ハ困難デアラウト思ヒマスケレド
モ、無理ヲシテ生産量ヲ壓スルコト云
フヤウナコトノナイヤウニサセルト云
フコトガ一つノ大キナ狙ヒデアリマス
ガ、同時ニ消費者ニ對シマシテモ、幸
ヒ本年ハ豐作デアリマスルシ、聯合
軍ノ了解得次第、具體的ニ増配ヲ實
行スルコト云フコトニ依ッテ消費生活ノ
安定ヲ圖ツテ行ク、サウシテ勿論一方
デハ購買力ノ減少ト云フコトモアリマ
スルガ、併シ現在ノ二合一勾デ、而モ
缺配ガアルヤウナ事態デ、ソレデヤツ
テ行ケト云フコトハ、是其ノコト事態
ガ無理ナノデアリマスカラ、配給量ノ
増加ト同時ニ、ソレヲ十分確保スル
コト云フコトニ依リマシテ、生産者ニ對シ
テモ、又消費者ニ對シテモ、サウ無理
ナコトヲシテ迄圖買ヲ起スコトノナイ
ヤウナ事態ニ持ッテ行ケト云フコト
ガ、實際ニ食糧供給ノ操作ノ觀點カラ
申シマシテモ、又政治的ノ意味カラ申
シマシテモ、必要デアラウト存ジマ
スノデ、昨日申上ゲマシタヤウナ方法
デ進デ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル
次第デアリマス

○侯爵前田利建君 ソレデ今ノ御話ハ
能ク分リマシタガ、昨日ノ御話デ今年
度ハ非常ニ豐作デアリニ拘ラズ多量ノ
輸入食糧ヲ入レナケレバナラヌト云フ
御話デアッタノデアリマスガ、今年ノ
ヤウナ豐作ト云フモノハ將來外地ノナ
クナツタ日本ニ於テ平均作デアルトハ
考ヘラレナイ、下廻ル可能性ノ方ガ多
イ、其ノ場合ニ日本ノ、日本人全體ノ
何ト申シマスカ、食生活ノ方式ト申シ
マスカ、從來餘リニ海外ノミニ依存シ
過ギテ居タノデハナイカト云フ氣ガス
ルデアリマス、是ハ長イ傳統デアリ
マスカラ、茲ニ直ニ變ヘルト云フコ
トハムツカシイと思ヒマスガ、例ヘバ
西洋人ノ食ベルモノヲ考ヘテ見マシテ
モ、肉食ト云ハレテ居ル位デ肉ガ主ニ
ナリマセウガ、ソレヲ假ニ副食物ヲ日
本式ニ考ヘテ見マシテモ、主食ノ麵
ト云フモノヲ比較シテ見ルト、其ノ麵
麩ノ量ト云フモノハ極メテ少ナイノデ
アツテ、昔カラ合理化ト言ヒマスカ色
色ナ物ヲ食ベルト云フコトニ依ッテ、
適當ナル榮養ヲ攝ツテ居ルノデヤナイ
カト思フノデアリマス、日本人ハソレ
ヲ米ノミニ依ッテ、殊ニ農村ノ連中ト
力、或ハ實際ノ労働ニ從事シテ居ル者
ノ食事ト云フモノハ、殆ド米ニ依存ス
ル、從ツテ米ノ含有シテ居ルモノカラ
シテ、或程度非常ニ餘計食ハナイト榮
養ガ保タレナイ、之ヲモツト合理的ニ
シテ、比較的米ヲ少クシテ、野菜トカ
魚トカ言フモノヲ多ク食ベルト云フ方
法ニ、次第ニ指導シテ行ケナラバ、米
ト云フモノノ全體ノ消費量ガ餘程減ル
ノデヤナイカト云フ氣ガスルノデアリ
マシテ、丁度戰爭以來米ガ減ツテ不
由デアリ、且今進駐軍ガ來テサウ云フ
食事ヲ見セケラレ、又粉ノ配給ニ依
ッテ麵麩ト云フモノガ非常ニ普及サレ
テ居ル現在ハ、サウ云フ方面ノ指導ニ
最モ好イ時機デヤナイカト思フノデア
リマス、政府トシテサウ云フ方面ノ合

理化ト申シマスカ、サウ云フ方面ノ宜
傳ヲ御ヤリニナル御意思ガアルカドウ
カト云フコトヲ御伺ヒ致シタイと思
マス
○政府委員(補見義男君) 御答ヘ申シ
マス、仰セノヤウニ今後ノ日本ノ食生
活ト云フモノノ方式ハ變ヘテ行カケ
レバナラヌト考ヘマス、ソレハ勿論此
ノ食生活ニ付キマシテハ、多年ノ慣習
ヲ申シマスカ、サウ云フヤウナコトカ
ラ致シマシテ、ナカノ一朝一夕、短
期間ニハ困難ナ點モアリマスルケレド
モ、一面又供給ノ點デ、例ヘバ肉食
ラ肉食ト云フコトニ致シマシテモ、其
ノ肉ノ供給源ト云フモノガ直チニ得ラ
レルカト云フコト、又困難ナ事態デア
ルコトモ御承知ノ通りデアリマスガ、併
シ長イ目デ見テ參リマスルノ、例ヘバ
日本ノ水田農業ト云フモノニ付テモ、
面積ノ上ニ於テ當然制約ヲ受ケナケレ
バナラヌ點モアリマス、從來ノ澱粉質
ニノミ多ク頼ッテ居ツタ食生活ト云フ
モノハ、榮養ノ觀點カラ言ヒマシテ
モ、ドウシテモ是ハ改良シテ行カナケ
レバナラヌと思ヒマス、勿論最近ノ聯
合國ノ放出食糧ニ依ル食生活ニ於キマ
シテモ、是ハ少シ餘談デアリマスガ、
我々以上ノ年輩ノ者ハ相當デ實ハ苦
痛ヲ致シタノデアリマスガ、併シ我々
ノ子供邊リヲ考ヘマスト寧ロ麵麩食ヲ
喜ブト云フヤウナコトデアリマシテ、
食生活ノ改善ニ必ズシモサウ困難ナコ
トデアナイト存ズルノデアリマス、從
ッテ現在差當リ手ヲ盡シテ行カナケレ
バナラヌコトハ、粉食ノ普及ト云フ間
題デアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ
從來モ民間ニ於テモ色々唱道セラレ、
殊ニ貴族院ニ於ケレマシテモ、粉食問
題ニ付テハ豫メテ唱道セラレテ居ツタ

向モアルノデアリマスガ、私共モ將來
ノ食改善ノ方向トシテハ種々ノ點ニ付
テ、粉食ト云フ問題ガ、相當大キク取
上ゲラレナケレバナラヌト考ヘテ居リ
マス、現在粉食ノ指導ニ付テ、特ニ其
ノ道ノ權威ノ方、又此ノ點ニ付テ非常
ニ御熱心ナ方々ヲ煩シマシテ、徐々デ
ハアリマスルケレドモ、手堅ク又未廣
ガリニ普及サシテ行クヤウナ方法ニ付
テ、今御骨折ヲ願デ居ルヤウナ次第
デアリマス、政府トシマシテハ此ノ點
ニ付テ相當力ヲ入レテ參ラナケレバ
ラスト考ヘマス、同時ニ問題ハ蛋白質資
源デアリマシテ、是モ先般來、豫算總
會等ニ於キマシテモ、水産ノ問題ニ付
テ相當強調セラレ、又色々ノ説ヲ拜聽
シタノデアリマスガ、水産ノ増殖ニ付
テモ政府トシテハ力ヲ入レナケレバ
ラスト考ヘテ居ルノデアリマス、更
ニ有畜農業ノ觀點、農業經營トノ結
附キカラ申シマシテモ、畜產資源ノ殖
關係カラ申シマシテモ、畜產資源ノ殖
ヤスト、現在御承知ノヤウニ飼料事情
其ノ他デ相當窮乏シタ情勢デアツタノ
デアリマスガ、此ノ水産ト畜產ノ増殖
ト云フコトニ、力ヲ入レテ參ラナケレ
バナラヌ、斯ウ云フ風ニ政府トシテハ
考ヘテ居ル次第デアリマス
○男爵前島勘一郎君 昨日農林大臣ノ
御答辯ニ依リマス、供出未完了ノ分
ハ、其ノ中ニ新米モ出過ツテ參リマス
ノデ、ドウナルカ分ラヌト云フヤウニ
承ツタノデアリマスガ、此ノ未完了ノ
數量ハ現在ドレ位殘ツテ居ルノデゴザ
イマセウカ、承リタイノデアリマス
ス、サウシテ此ノ未完了ノ農家ニ對シ
テハ、一方ニ於テ完全供出ヲナシタ農
家ガアリマス、又他ノ一方ニ措置令ニ
依リマシテ強權ガ發動セラレテ、強制

的ニ買上ゲラレタ農家ガアリマスノ
ニ、一方ニ於テ産米ノ間ニ流シテ不當
利得ヲシテ居ル、又自ラ飽食シテ涼
シイ前ラシテ居ル農家ガアルト云フコ
トハ、何カ我々ノ氣持トシテ割切レナ
イモノガアルヤウニ思ハレルノデアリ
マス、尤モ割當ノ不適當ナモノヤ、農
家ノ個々ノ事情モ考慮ニ入レル必要ハ
アルデアリマセウガ、是等ノ供出ノ殘
ツテ居ル農家ニ對シテハ、ドウ云フ御
處置ヲナサル御積リデアリマスカ、政
府ノ御意見ヲ承リタイ

○政府委員(橋見義男君) 昨年ハ米ノ
供出割當ハ約二千二百萬石ト致シタノ
デアリマスガ、最近迄三米ノ供出見マ
シタノハ約二千萬石デアリマシテ、二
百萬石ガ米トシテ、我々當初期待シ
テ居リマシタ數量ヨリモ減ツテ居ルノ
デアリマス、ソコデ此ノ二百萬石ノ間
題デアリマスガ、此ノ六月ニ馬鈴薯
ト麥ノ供出ノ割當ヲ考ヘマシタ際ニ、

從來ノ此ノ農村ニ於キマスル供出ノ狀
況竝ニ農家ノ保有ノ狀況ト云フヤウナ
モノヲ觀ミ合セマシテ其ノ後始末ヲ馬
鈴薯ト麥デアル、從ツテ其ノ意味カラ
申シマス、昨年ノ米ト本年ノ馬鈴
薯、麥ノ綜合供出ト云フヤウナ意味合
ニナル譯デアリマスガ、サウ云フヤウ
ナコトデ、市町村食糧調整委員會ニ總
ヒラシテ貰ツテ、ソレニ依ツテ後ノ馬
鈴薯、麥ノ供出割當ヲ決メテ行カウ、

斯ウ云フ方向デ實ハ致シタノデアリマ
ス、勿論市町村ノ食糧調整委員會ト云
フモノガ、發動ガ不十分ナ爲ニ的確ニ
行ツテ居ラナイ所モアラウカト思ヒマ
スガ、考ヘ方ト致シマシテハ、サウ云
フ方向デ參ツタノデアリマス、サウ云
フコトヲ致シマシタ趣旨ハ、是ハ只今
仰セニナリマシタヤウニ、矢張り又正

直者ガ馬鹿ヲ見タト云フヤウナ不平ノ
起ラナイヤウニ、又公平ノ觀念ニ於
テ、支障ノ存スルコトノナイヤウニト
云フヤウナ點點カラ致シタ積リデア
ルデアリマス、サウシテ此ノ何處迄モ
行カウデアリマスガ、馬鈴薯、麥ニ
付テノ供出割當ノ殘リノモノニ於テ
縮メ括リデアリマスガ、之ヲ今同ノ
米、甘藷ノ供出ニ際シマシテハ、其ノ
殘リ保有量トシテノ中ニ計算ヲシテヤ
ツテ行クト云フヤウナコトデ、何處迄
モ縮メ括リノ途ヲ講ジテ參リタイ、斯
ウ云フコトデ進ンデ居ル次第デアリマ
ス

○男爵前島勘一郎君 サウシマス、
麥ヤ馬鈴薯ノ生産ニ對シテ割當ガ色々
ゴザイマスガ、其ノ供出割當量ニ足
リナイ供出ラシタ農家ニ對シテハ、又
其ノ非常ニ惡德ニ供出ラシタ農家
ニ對シテハ、矢張り強權發動ガ行ハレ
ルノデアリマセウカ

○政府委員(橋見義男君) 強權發動ノ
對象トシマシテハ、現在ノ處、此ノ腐
敗シ易イ芋類ハ入レテ居ラナイノデア
リマスガ、米麥ヲ現在對象ニシテ居
マシテ、麥ニ付キマシテハ、強權發動
ハ必要ナ折ヲ見デヤリタイ、是ハ勿論
衆議院ニ於キマスル論議ノ結果ニ基キ
マシテ、市町村ノ食糧調整委員會、或
ハ道府縣ノ食糧委員會ノ申請ニ依ツテ
ヤルト云フコトニハ致シテ居リマスガ、
強權發動ハヤツテ行キタイ、現ニ一部
ノ地方デハ、食糧調整委員會ガ、一ツ
ドウシテモ聞カナイ懸賞ナ農家ニ對シ
テハ申請ラシテヤツテ貰ハウデヤナイ
カト云フヤウナ聲ノアルコトモ耳ニ致
シテ居ルヤウナ情勢デアリマシテ、強
權發動ハ最後ノ縮メ括リトシテ是非存
置スルト同時ニ、必要ニ應ジテ發動シ

テ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス
○子爵土屋直君 農林大臣ニ伺ヒタ
イノデゴザイマスガ、最近農村ニ於テ
色々考ヘルコトハ、將來不安ト云フコ
トガ農家ノ側ニ多イノデゴザイマス
ガ、第一ニ米ノ專賣ノコトニ付テ本會
議デ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、米ノ如
ク、畑ト葉ヒマシテ、非常ニ生産ニ苦
心ヲ要スルモノニ對シテ專賣ヲスルト
云フヤウニ、努力サレコトハ、農家ノ
不安ヲ非常ニ増長スルモノデゴザイマ
スノデ、此ノ際米ノ專賣ハ絕對ニシナ
イ、サウシテ安心シテ米生産ノ絕對量
ヲ殖ヤシ、決シテ自家用ノミニ満足セ
ズ、勢力ヲ振ケテモ國家ノ爲ニ働ケル
ヤウニト云フヤウニ、專賣ハ絕對ニシ
ナイト云フ御言明ヲ承リタイと思ヒマ
スガ、ソレト併セマシテ、強權發動ノ
將來ノ必要ニ付、停止ノ時期ニ付
テ、昨日他ノ委員カラノ御質問ニ對シ
テ、御答辯ヲ伺ヒマシタガ、其ノ將來
停止スルニ持ツテ來ル方法ニ付テノ御
抱負ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、尙是
ハ聯合軍ノ日本ニ對スル食糧品ニ對ス
ル政策ニモ關係ノアルコト存ジマス
ガ、農林大臣ノ將來ニ於ケル日本農村
ノ指導ト、聯合軍ノ方ノ考トニ對スル
日本農村ノ指導ノ御抱負ヲ伺ヒタイト
思ヒマス、是ハ農民ノ側ト、都會ノ消
費者ノ側ト、又聯合軍側ノ立場ニ於テ
御檢討ヲ願ヒタイと思フノデゴザイマ
スガ、伺ヘマスモノデゴザイマシタラ
伺ヒタイ

○國務大臣(和田博雄君) 御答ヘ致シ
マス、此ノ專賣ハ、私トシマシテハヤ
ル考ハゴザイマセウ、此ノ專賣論ト云
フモノハ、是ハ私度農林省ニ入リマ
シタ時ニ、昔米穀課ト云フ課ガアリマ
シテ、農務局ノ中ノ一課デゴザイマシ
タ、其ノ時ニハ農務局ニ屬シテ居ツタ
モノデアリマシテ、私度其ノ米穀課
ニ入ツタノデアリマスガ、私ノコトヲ
申上ゲマシテ非常ニ恐レ入りマスガ、
其ノ時ニ矢張り專賣ガ問題ニナリマシ
テ、其ノ專賣ニ付キマシテ丁度調ベロ
ト云フ命令ヲ受ケタモノデアリマスガ
ラ、外國ノ文獻其ノ他ヲ可ナリ私ガ調
ベテ參ツタ譯デアリマス、ソレカラ内
地ニ於ケル專賣ノ色々ナ……吉植床一
郎案トカ、色々ノ各委員カラ出タ案モ
隨分私調ベマシタ、處ガ外國ニ於ケル
專賣ヲヤリマシタノハ、確カ第一次戰
争ノ時ハ「スイス」カ「ノルウエー」デア
ツタカト思ヒマスガ、是ハ戰爭中、而モ
其ノ食糧ノ大部分ヲ輸入ニ待ツテ居リ
マスル國ニ於キマシテ、輸入ノ食糧
ト、ソレカラ内地ノ生産ノ食糧トノ間
ノ「バランス」ヲ皆ク取ツテ行クト云フ
關係カラ確カ專賣シタ、或ハ「ノルウ
エー」デアツタト思ヒマスガ、ソツチ
デアツタヤウニ記憶シテ居リマス、其
ノ結果ハ財政的ノ非常ナ負擔ヲ負ヒマ
シテ、戰爭中ニ於テハ、戰爭ト云フ一
ツノ必要カラ或程度ノ效果ハ擧ゲタ譯
デゴザイマスガ、戰爭ガ止ミマスト共
ニ、是ハ止ツタマツタヤウナコトニナ
ツテ居ツタヤウニ記憶致シテ居リマ
ス、日本ニ於キマシテモ、米穀統制法
ト云フ法律ガ出來マシテ、アノ恐慌ノ
時ニ、日本ノ農村ガ米價ノ下落ノ爲ニ
非常ナ苦況ニ沈メタ時ニ、矢張り減
反案ト同時ニ專賣案ガ確カ色々方々デ
研究サレタヤウニ思ヒマス、併シ此ノ
專賣案ト云フモノハ、其ノ時々ニ出テ
來マス形ニ依リマシテ、其ノ内容ハ非
常ニ異ツテ居ルノデゴザイマシテ、例
ヘバ全部ノモノヲ全部買ツテシマツテ
サウシテソレヲ政府ガ賣ルト云フヤウ

ナコトハ、或ル程抽象的ナ論議的ニ考
ヘレバ一應極メテ、又形式的ニハ完備
シテ居ルヤウナ案デアリマスガ、倍テ
ソレヲ實行スルト云フ點カラ考ヘテ見
ルト、是ハ第一、二重ノ手間ガアルシ
經費ガ掛ルシ、餘程是ハ考慮スベキモ
ノデアリマシテ、色々ノ點ニ於テ緩和
ザレマシテ、ドウシテモ問題ノ焦點ガ當
ニ農家ノ自家保有米、ソレカラ農業ノ
生産ヲヤツテ行クニ付テ必要ナル所ノ
種子デアリマス、其ノ他ノモノ、
其ノ他ハ飼料ト云ツタヤウナモノモ入
ル譯デアリマスガ、サウ云フモノハモ
ウ專賣ノ場外ニ置イテシマフト云フコ
トニ結局ハ歸着シテ來ルノデアリマ
ス、其ノ點ガ當ニ專賣ノ場合ハ一番
問題ニナルノデアリマシテ、ソレガウ
マク行カ行カカト云フコトガ、
ニ恐ラク掛ツテ居ルト私ハ思ツテ居ル
ノデアリマス、外國カラ入ツテ來ルモ
ノノ專賣ハ是ハ極メテ簡單デアリマス
ガ、内地產ノモノノ專賣ニ付テ見ルト
ソコニ非常ナ問題ガ出テ來ル、ソコデ
專賣ト云フ、如何ニモ強力ナヤウナ感
ジヲ受ケマスル行キ方ト云フモノハ、
是ハ遠イ將來デハドウカ知リマセウ
ガ、只今ノ狀態ニ於テハ之ヲ今執ルト
云フコトハ、最近一時米價ノ問題ノ時
ナシカニ於テハ、一部ニ於テ議論ニナツ
タヤウデアリマスガ、私ハ其ノ時ト雖
モ餘リ贊成ハシナカッタノデアリマ
ス、何故ナレバ自家用ノ保有米、ソレ
カラ農業ノ生産ニ必要ナモノト云ウモ
ノハ、結局ハ何處カニ於テ之ハ除外サ
レザルヲ得ナイ、サウシテ見ルト、現
在ヤツテ居ル所ノ米穀ノ管理方式ト云
フモノト結果ニ於テハ或程度一致スル
部分ガ非常ニ多イコトニナツテ來ルノ
デアリマス、サウシマスルト現在ノ食

タ、其ノ時ニハ農務局ニ屬シテ居ツタ
モノデアリマシテ、私度其ノ米穀課
ニ入ツタノデアリマスガ、私ノコトヲ
申上ゲマシテ非常ニ恐レ入りマスガ、
其ノ時ニ矢張り專賣ガ問題ニナリマシ
テ、其ノ專賣ニ付キマシテ丁度調ベロ
ト云フ命令ヲ受ケタモノデアリマスガ
ラ、外國ノ文獻其ノ他ヲ可ナリ私ガ調
ベテ參ツタ譯デアリマス、ソレカラ内
地ニ於ケル專賣ノ色々ナ……吉植床一
郎案トカ、色々ノ各委員カラ出タ案モ
隨分私調ベマシタ、處ガ外國ニ於ケル
專賣ヲヤリマシタノハ、確カ第一次戰
争ノ時ハ「スイス」カ「ノルウエー」デア
ツタカト思ヒマスガ、是ハ戰爭中、而モ
其ノ食糧ノ大部分ヲ輸入ニ待ツテ居リ
マスル國ニ於キマシテ、輸入ノ食糧
ト、ソレカラ内地ノ生産ノ食糧トノ間
ノ「バランス」ヲ皆ク取ツテ行クト云フ
關係カラ確カ專賣シタ、或ハ「ノルウ
エー」デアツタト思ヒマスガ、ソツチ
デアツタヤウニ記憶シテ居リマス、其
ノ結果ハ財政的ノ非常ナ負擔ヲ負ヒマ
シテ、戰爭中ニ於テハ、戰爭ト云フ一
ツノ必要カラ或程度ノ效果ハ擧ゲタ譯
デゴザイマスガ、戰爭ガ止ミマスト共
ニ、是ハ止ツタマツタヤウナコトニナ
ツテ居ツタヤウニ記憶致シテ居リマ
ス、日本ニ於キマシテモ、米穀統制法
ト云フ法律ガ出來マシテ、アノ恐慌ノ
時ニ、日本ノ農村ガ米價ノ下落ノ爲ニ
非常ナ苦況ニ沈メタ時ニ、矢張り減
反案ト同時ニ專賣案ガ確カ色々方々デ
研究サレタヤウニ思ヒマス、併シ此ノ
專賣案ト云フモノハ、其ノ時々ニ出テ
來マス形ニ依リマシテ、其ノ内容ハ非
常ニ異ツテ居ルノデゴザイマシテ、例
ヘバ全部ノモノヲ全部買ツテシマツテ
サウシテソレヲ政府ガ賣ルト云フヤウ

糧食管理法ニ據ツテ居リマスル所ノ米穀ノ管理法式ト云フモノヲ合理化シマスル方ガ、生産農家ニ對シマスル關係カテ行キマシテモ、專賣ヨリモ私ハマア結果ニ於テハ宜イノデハナイカト、斯ウ思フノデアリマス、ト申シマスルハ、是ハ御承知ノヤウニ、日本ノ農家ト云ヒマスルモノハ、五百五十萬戸ノ農家、其ノ農家ノ營シテ居リマスル農業經營ト云フモノガ、色々ノ地方々々ニ依ツテ「グアラエティ」ガアリマスルシ、又農家其ノモノニ付テ、米作ナラ米作其ノモノニ付テ見テモ、色々ノ何ガアル譯デアリマシテ、ソレ等ノモノヲ唯形式的ナ專賣ト云フ形行キマスルコトハ、ドウモ私トシテモ面白クナイト思フノデアリマス、ソレヨリモ矢張り今ヤツテ居リマスル所ノ供出制度、供出ト云フ名前ガ是ハ戰爭中カラ使ツテ來タノデアリマシテ、餘リ感服シタ名前デアリマセヌガ、今ノヤウナ管理方式ニ依リ國家ノ買入レ制度ト云フモノヲモウ少シ合理化シマシテ、ソコニ農民ノ方ノ生産ノ基礎モ確立シ、又農民側ニモ生産面ニ付テノ或程度ノ自由ヲ與ヘ消費者ノ方ニ於ケル配給ニ付テモ支障ノナイヤウナ此ノ計畫ヲ以テヤルト云フコトノ方ガ、今迄戰爭中ノミナラズ、終戦後ニ於テモ色々ト歴史ノ流れニ從ツテ我々ガ經テ來タ經驗ト云フモノヲ活カスト云フ點カラ考ヘマシテモ、是ハ能率ノデアルコトヲ實ハ考ヘマシタノデ、私ハ專賣ト云フモノハ妥當デナイト、斯ウ云フ考ヘヲ持ツテ居リマシタノデ、本會議ニ於テ、ヤル積リハナイト云フ御答辯ヲ川村サシノ御質問ニ對シテ致シタ譯デアリマス、私ハ此ノ管理制度ト云フモノハ、今度ノヤリ方ニ於テハ、可ナリ極端デ、

少シ言ヒ過ギカトモ思ヒマスガ、管理制度ノ行クベキ或ハ極限デハナイカト、斯ウ思ツテ居リマス、今度ノ管理制度、言ヒ換ヘレバ供出制度ト云フモノガ、是ハ大キナ將來ノ食糧ノ方策ヲ決メル上ニ非常ニ良イ私ハ經驗ニナルト、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマシテ、今年ノ何ハ是非一ツ色々ナ點ニ於テ、從來ノ誤リヲ匡シ、又新シイ工夫ヲ入レタ譯デアリマスルノデ、是非各方面ノ御協力ヲ得マシテ、圓滑ニヤツテ行キタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ強權ノ發動ヲ止メル時期デアリマスガ、是ハ供出制度ト云フ、斯ウ云フ制度ガ無クナリマスレバ、是ハ強權ノ發動ト云フモノハ當然無クナルト思ヒマス、此ノ供出ノ制度ニ伴ヒマシテ、實ハ強權ノ發動、其ノ他外國ノ色々ノ關係カラ斯ウ云フ一ツノ最後ノ國家ノ締結リニ依リ制度ヲ以テマシテ供出制度ノ完遂ヲ期シテ居ル譯デアリマスガ、是ハ政策ト云フモノガ總テ統制ト或意味ニ於テノ自由トノ混合形態ノ組織ガ常ニ行ハレト考ヘテ居ルノデ、ソレ等ノ一般ノ色々ナ條件ガ變ツテ來マスレバ、是ハ自由ノ部分ガ強エテ來、統制ノ部分ガ減ツテ來ル、斯ウ云フコトニナルト思フノデアリマス、併シ現在ノヤウナ資料ノ窮乏ナ、最近賠償ノ可ナリ大キナ炸ガ決リマシタノデ、日本ノ經濟ノ再建ノ基礎的ノ組織ト云ヒマスガ、範圍ト云ヒマスガ、サウ云フモノハ一應決ツタ狀態デアリマスルガ、現在ノヤウナ段階ニ於テハ、一番矢張り必要ナハ、是ハ民間及官廳ノ知識ヲ糾合致シマシテ、矢張り立派ナ、シツカリシター一ツノ計畫ノ下ニ、勿論資本主義下ニ於ケル計畫デアリマスガ、其ノ計畫ノ下ニ

有ラエル方面ニ於テ相互ニ矛盾ヲ來サナイヤウナ政策ヲ立ツテ行ク、言ヒ換レバソコニ矢張り大キナ統制ノ線ト云フモノハドウシテモ存續スル必要ガアルト思ヒマスルノデ、來年ハドウ云フ風ニナリマスガ、全體ノ經濟ノ復興ニモ依リト思フノデアリマスガ、此ノ供出制度ト云フモノハ矢張り存續シマスル、而モ存續スルニ付テノ社會的ナ理由ト云ヒマスガ、「レゾンデール」ヲ持ツテ居ル間ハ、是ハドウモ強權發動ト云フモノハ止メル譯ニハ參ラヌト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレカラ殊ニ將來ハドウナルカト云フコトハ、是ハ世界ノ經濟ノ恢復ノ仕方、殊ニ敗戰國及優勝國ノ經濟ノ恢復ノ仕方、又ソレ等ノ國々ノ經濟ノ在リ方ト云フモノニモ矢張り影響ヲ受ケ、ソレトノ關係ニ於テ考ヘナケレバナリマセヌノデ、今何時ニナツタラドウカト云フ連斷ハ、是ハ私トシテモ下シ得ナイノデアリマスルガ、ソレ等ノコト、今後共色々ナ世界ノ情勢モハツキリシテ來、又日本ノ經濟事情モ今年ヲ契機トシテ、食糧ト云フモノハ比較的安定シテ來マスレバ、問題ヲ處理シ、考ヘテ行ク上ニ非常ニ都合ニナツテ來ルノデヤナイカト、斯ウ私トシテハ考ヘテ居ル次第デアリマス、ソレカラ最後ノ點ハ、日本ノ農民、言ヒ換ヘレバ殊ニ日本ノ農村ニ於ケル人達ノ現在ニ對シマスル所ノ考ヘ方、又ハ將來ニ對スル或種ノ不安ニ付テノ其ノ指導原理ノ問題デアリマスルガ、實際是ハ日本ノ農村ト云フモノハ、矢張り社會ノ今ノ變化ノ影響ヲ受ケマシテ、相當大キナ變化ノ過程ノ中ニアル譯デアリマス、ソコデ此ノ頃能ク聞キ

マスコトハ、日本ノ農村ノ、言ヒ換ヘマスレバ青年層、二十五カラ四十、五十位ノ中年層ノ方々ハ、比較的安定シタ、ソシテ何カ積極的ナモノヲ持タムトシテ居ルコトガ取サレノデアリマスガ、ト言ヒマスルハ、ソレ等ノ人ガ、矢張り現在ニ於キマシテハ農村ニ於ケル本當ノ實力ヲ持ツタ人達デアリマスルノデ、又ソレ等ノ人達ガ戰時中ニ於テモ或程度指導ノ地位ニ立ツテ居ツタ人達デアリマスガ、割合サウ云フ人達ニ於ケル安定性ハ見受ケラレルノデアリマスルガ、ソレ以下ノ若イ二十年代、或ハ十年代ノ青年ガ方途ニ迷ヒ、最近ハ農村文化ニ付キマシテモ、色々ノ點ニ付テ可ナリ、謂ハバ低劣ナ娛樂ナリ何ナリニ趨ツテ居ル傾向見受ケラレルノデアリマス、併シ私ハ是ハ斯ウ云ツタヤウナ大キナ過渡期ニ於キマスル現象トシマシテ、餘リニ其ノ點ニ付テ神經質ニ考ヘルベキモノデハナイト思フノデアリマス、ト申シマスルハ、從來ノ農村ニ於キマシテハ、是ハ東北地方トカ色々ナ所ニ於キマシテハ、何トシマシテモ斯ウ云フ例ハアルカモ知レマセヌ、其ノ村ノ區長ニシマシテモ、部落實行組合長ニシマシテモ、村ニ於テハ年寄リト言ヒマスガ、可ナリノ老年層ガ、實力ト言ヒマスガ、社會的ナ力ヲ持ツテ居ツタ、ソレデハベムトスル若イ青年層ト云フモノハ、ナカ／＼其ノ舊來ノ陋習ヲ打破シマシテ、新シク伸ビテ行クト云フ氣運ニハ應マレナカツタト云フ點ガ、矢張り相當アツタト思フノデアリマス、勿論從來ノ秩序ノ中ニハ、殊ニ農村ニ於キマスルヤウナ急激ナ變化ヲ宜シトシナイ社會ニ於キマシテハ、日本ノ傳統ノ中ニアリマスル良キモノヲ脈々トシテ傳ヘテ居

ル、ソレヲ十分青年達ガ本當ニ理解スルダケノ知性ト、ソレカラ教養ノナカク、併シ一面ニ於キマシテハ、長イ間ノ傳統ノ中ニ、矢張りソレハ時代ノ新シイ動キト共ニ變ツテ、若イ青年ノ此ノ盛上ツテ内カラ爆發シヨウトスル力ヲ十分活カスベキ社會的餘裕ナリ、餘地ガナカツタコトハ是ハ事實デアリマス、私ガ十數年前ニ東北、殊ニ秋田、山形ヲ二週間カラ三週間掛ツテ村々ヲ廻ツテ見マシタ時ニ、若イ青年ガ一番惱ミトシテ我々ニ懇ヘマシタノハ、農村ニ於ケル青年層ト云フモノガ、兎ニ角所謂活躍ノ餘地ノナイ點デアツタト思フノデアリマス、其ノ狀況ハ、私ハ餘リ戰爭中ト雖モ變ツテ居ナカツタト思フヒマスガ、變ツタ點ハ少ナカツタト思ヒマス、ソコデ將來トシテハ、是ハ若イサウ云フ人達ガ、一面ニ於キマシテハ、私ハ願クハ、農村ノ社會ノ中、歴史ノ中ニ、又地方ノ文化及ビ中央ノ文化ノ中ニ存シテ居リマス本當ニ良イモノヲ自分達ノ面カラ把握シマシテ、ソレヲ十分ニ活カシテ戴キタイ、ソレカラ又、他方ニ於キマシテハ、是ハ其ノ立脚點ニ立ツテ、此ノ世界ノ變動ノ中ニアリ、外國カラモ良キ文化ノ流れガ入ツテ來ル譯デアリマスカラ、何時迄モ自己ト云フモノヲ失ハズニ、入ツテ來ル新シイモノノ中デ良イモノハ十分ハ採入レテ、ソコニ本當ノ意味デ日本の農村ノ固有ノモノヲ打立テテ行クト云フヤウナ、是ハ是非指導モシ、又農村ニ於キマスル先覺達ノ努力、協力ト云フモノヲ御願ヒシタイ、斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマ

ルト思ヒマス、刑ハ罪ナキヲ期スル、詰リ此ノ法ト云フモノハ罪ノナイノヲ期スルト云フノデアリマシテ、當局モ勿論サウダ思ヒマスガ、詰リ百姓ガ好シテ供出ラシ、我々ガ安ク當リ前ノ正當ナ値段段米ナリ、食糧ナリヲ得ラレルト云フコトニナレバサウ云フ問題ハナクナル、併シハナカ／＼ムヅカシイコトデアリマス、處デ水産ガ地位ノ生産ガアルダラウカト云フコトヲ能ク色々ナ方面ヲ探ラウト思フテモ實際ニハ探レナイ、併シ米ヤ麥、甘藷、馬鈴薯ナドハ正確ナ數ガ出テモ宜イ筈ダト思ヒマス、唯個々ノ心理狀態ガ働イタリ、色々ナコトデ非常ニ數ガ少ク出タリ、或ハ場合ニ依ツテハ多ク出ルノデスガ、多ク出ルコトハナイノデスガ、特ニ米ノ生産高ノコトニ付テハ、先年米ノサウ云フ方ノ專門家ノ話ヲ聽イタガ、維新以來ズ／＼殖エテ居ル、ケレドモアレハアノ時分ニハ少イヤウニ出テ居ルガ、本當ハモット多カッタ、日清戰爭ノ明治二十七年ノ時ニ政策ガ加ツテ俄然殖エテ居ル、統計ヲ御覽下サレバ分リマス、ソレカラ明治三十七年ノ日露戰爭ノ時ニ又俄然殖エテ居ル、二割位殖エテ居ル、是モ矢張り一種ノ政策ガ加ハツテ斯ウナツタノデ、實際ハマダ澤山殖エタ、斯ウ云フヤウナコトデアリマス、ソレハ全國ノ米數ノ出來方ヲ始終見テ廻ツテ居ル一種ノ專門家デス、後ニ安藤廣太郎君ニ聞イタラ、ア、云フノガ居テナカ／＼正確ナラ、腰メダカラ下手ニボツ／＼勘定スルヨリモ寧ろ正確ダト云フ話ヲ聽キマシタ、近頃サウ云フ者ガ居ルカドウカ知リマセヌガ、現ニ角米ナドハ昨年ハ三千九百萬石、麥ガ本年ハ一千六百萬石ト云ツテ居リマスガ、是ハ餘

程少イノデアリマシテ、殊ニ依ルト三割モ四割モ多イト云フコトデアリマス、近頃開ク所ニ依リマス、私ハ越後ニ關係シテ居リマスガ、越後ノ農家デハ米ガナイト云フガ、實ハ隠シテ持ツテ居ツテ、此ノ頃蟲ガ附イタ來タ、オマケニ豐年ダト云フノデ、慌テテ安ク買ハヌカト實焦ツテ居ル始末デス、是等ハ先程カラ御話ガ出マシタヤウニ百姓ノ心理狀態ガ働イテサウ云フ狀態ニナツタノデス、實ハ或田舎ノ農ヲヤツテ居ル人ニ聞イタノデスガ、政府ガ此ノ際思ヒ切ツテ三合位ノ配給ヲスレバ供出ハ直グ出來ルト云ツテ居リマス、是ハ其ノ人ノ「エスティメーショ」デ、果シテソレデ行クカドウカ分リマセヌガ、サウ云フモノヲ持ツテ居ルモ皆ガ買ヒニ來ナケレバ蟲ニ喰ハレルカラ、ト云ツテ直グ闇デ賣ルト云フコトモ出來ナイカラ、ドウカ買ツテ呉レト云フコトヲ向フカラ言ウテ來ルト言フノデスガ、是ハ信州ノ例デスガ、コチラデ昨日菅澤サンガ、サウスレバ出シマスヨト云フコトヲ言ヒマシタガ、果シテサウ云フモノデアリマスカドウデアリマス、此ノ食糧ノ生産高ヲ計算スル、新聞デ見ルト科學の方法トカ色々ナ方法デ確カニヤルト云フコトヲ承リマシタガ、今迄ハドウ云フヤウナ方法デ大體見テ居ラレタノデスカ、將來ハドウ云フヤウナ方法デアレバ正確ニサレルカ、統計ノ基礎、數字ノ基礎ト云フモノガハツキリシナケレバソレカラ先ノ計畫ヲ立テルト云フコトハ全然砂上ノ樓閣デアリマス、是非ヤツテ戴キタイ、今迄ナケレバドウ云フ方法カデ必ズヤツテ戴キタイト思フノデアリマス、殊ニ實際ハ重要ナ問題デアリマス、ソレカラ先程前田

侯爵モ言ハレマシタガ、食糧ノ色々ノ生産高ヲ、國家トシテバ色々ナ食糧ヲ提供シテ、ソレデ國民ガ適宜ソレヲ混ゼテ食フ、詰リ食生活ノ改良ト申シマスカ、改正ト云フコトデアリマス、是ハ實ハムヅカシイ問題デアリマシテ、私共學術振興會デ數年來委員會ヲ作ツテ調査ヲシテ居リマスガ、此處ニオイデニナル寺尾サンナドモ其ノ委員ニナツテヤツテ戴キテ居ルガ、ナカ／＼結論ニ達シナイト、今度日本ノ領土ガ大分變ツタモノデスカラ、例ヘバ滿洲ノ豆ト云ツテモ其ノ豆ハ入ラナクナル、ソコデ計畫ノ基礎ガ大分動搖致シマシタノデ、マダ結論ニ達シマセヌガ、是ハ何レ或種ノ結論ヲ得マシタナラバ、必ズ御參考ニ供スル時期ガアルト思ヒマス、詰リサツキ言ハレタヤウニ米バカリ食ツテ居ルト云フノデハイケナイト思フ、是ハ極ク好イ例ヲ申シマス、一例ヲ申シマス百姓ガ一升飯ヲ食ツテ居ル、農民ガ兵隊ニ入リマス初メハ腹ガ減ツテ仕樣ガナイ、兵食デハ足リナイ、米麥六合ニ色々ナ物ヲ混ゼテモ足リナイ、處ガ二月カ二月經ツト食物ヲ餘スヤウニナル、ソレハ何故カト云フト、米バカリ食ツテ居ルト「カロリー」ハ餘ル程アルガ、蛋白其ノ他必要ノモノガ足ラヌカラ、ソレデ身體ニ飢餓感ガ起ツテ來ル、處ガ確カニモノヲ食ベテ居レバ飢餓感ガ、初メハ習慣デ飽滿感ガナイカラ足ラヌ／＼ト云フガ、暫ク經ツト云フト六合ノ飯ヲ餘スヤウニナル、飯ヲ餘スモノハ古兵、新兵ハ足リナイデ皆食フ、斯ウ云フコトデ餓クノハ古兵デモ皆同ジヤウニ餓イテ、重労働ノ時ハ陸軍デハ五千「カロリー」以上ノ食物ヲ與ヘルヤウニナツタ、必ズシモ分量ガ多イ譯デナイ、是等ノ點ハ詰

リ日本ノ國土ノ地方デレダケ牧畜ガ出來ルトカ、ドレダケ水産ガアルトカ、水産ノ方ハ餘リ當テニナラヌカラ困リマスガ、牧畜デアルトカ或ハ其ノ他野菜ナド植物性食物ニシテモ、米、麥其ノ他色々野菜類ノヤウナモノヲ適當ニ混入スルコトニ依ツテ又適當ナ鹽梅ガ出來ルモノデアリマス、サウ云フヤウナ標準ハ是非講ジテナケレバナラヌト思ヒマスガ、或ハ農林省ノ方デモソナコトハ自然御考ニナツテヤツテ居ルコト考ヘマスガ、將來ニ於テハドウ云フ風ナ御考デアリマス、ソレヲ一ツ御伺ヒ致シタイ、第三ニ先程秋田子爵ノ言ハレタ粉食ノ問題デアリマスガ、此ノ粉食ト云フコトガ出來マシタ時ニ、私共ハドウモ餘リ私ハ贊成出來ナイ、何故出來ナイト云フト、米ナラアノ中ニ砂粒ヲ混ゼタリナンカシテ參リマスト云フト、目ニ見エルカラソナモノハ入レマセヌ、粉食ハ田舎デモ實際ヤツテ居ルノデスガ、藥デモ玉蜀黍ノ軸デモ何デモ粉ニスレバ分ラナイト云フノデ、小麦粉ノ中ニ色々ナ物ヲ入レテソレデ分量ヲ減ヤシテ來ル、今度ノ中毒ナドモソナコトデ何ガ入りマシタカ、佐々木喬君ノ話デ毒分ハナイノデヤナイカト云フガ、或ハサウカモ知レナイ、私ハ中毒ノ症狀ガドンナ症狀デアルカト云フコトモ新聞デ見タケデハツキリ分リマセヌ、其ノ後ノコトモ分リマセヌカラドウ云フ風ニナツタカ分リマセヌ、粉食ニハ粉ニ對シテ科學的ノ検査方法モヤツテ戴キタイト思ヒマス、是ハ是非農林省ニヤツテ戴キタイ、農林省デサウ云フ御考ガ既ニアルナラバ大體結構デアリマス、是非御考ヘ置キテ爾ヒタイト思ヒマス、丁度酒ノ中ニ水ヲ混ゼル分ハ宜

イガ、「メチール・アルコール」ヲ混ゼラレタラ大變デアリマス、ソレハ「メチール・アルコール」ハ「メチール・アルコール」ノ検査法ガアツテ、サウシテサウ云フ飲料ヲ賣ルコトハ出來ナイコトニナル、粉ノ中ニハ何ヲ混ゼテモ宜イ、昔ハ能ク重碳酸ノ中毒ガアリマシタガ、ソレハ鼠取リニ輸入シタ時、亞硫酸ノ粉ハ小麦粉ニ似テ居ルノデ、ソコデ掃キ寄セト稱シテ亞硫酸ノ粉ノ漂レタモノヲ掃キ寄セテ來ル、ソレデ亞硫酸中毒ガ神戸トカ税關ノアル所ニアリマシタガ、是ハサウ面倒ナコトガナイ、一定ノ検査法ヲ設ケレバ、是ハ小麦ダケノ粉デアル、或ハ外ノ藥ガ入ツテ居ルカト云フヤウナコト位ハ、泥ガ入ツテ居レバ尙更分リマス、是等ノ検査法ヲ、一體唯粉デアリサヘスレバ、袋ノ中ニ入ツテ「メリケン」粉ト書イテアレバ小麦粉ト云フコトデアルガ、何カ検査法ガアレバサウ云フヤウナコトヲ承リタイ、是ハ農林大臣ヨリ寧ろ次官ノ方ニ承リタイガ、私ハソレデ御伺ヒ致シマス

○國務大臣(和田博雄君) 私カラ御答ヘ出來ル程度デ御答ヘ致シマシテ、後ハ次官カラ一ツ御答ヘ致シマス、生産高ヲ正確ニ把握シマスト云フコトハ、是ハ實際上ナカ／＼觀念的ニハ色々ナ案ガ立チ得ルノデアリマスガ、事實問題トシテハ實ニムヅカシイト思ヒマス、ソレデ政府全體トシテ實ハ統計ナンカノ矢張り整備ト云ヒマス、日本ノ統計ヲモウ少シ科學的ニ、言換ヘバ出來ルダケ科學的ニスルト云フ意味デ統計ノ方ノ色々ナ改善モ今研究致シテ居ル譯デアリマス、農林省トシテハ從來ハ生産高ヲ調べマスルノニハ、是ハ實際検査員ナリ其ノ他ノ者、又市町村調

在員ナリヲ動員致シマシテ、是ハ實地ニ調査ヲ致シ、又坪刈リ等ヲ致シテ之ヲ集計致シ居ツタノデアリマス、併シ結局ハ是ハ統計ヲ調ベマスル所ノ人達ノ考ヘ方ト、ソレカラ一ツニハ其ノ統計ガ利用サレマスル程度ト言ヒマス、ソレトノ關係デ正確ナ數字ガ出易カツタリ出ニクカツタリ實ハスルト思フデアリマス、例ヘバ肥料ナンカニ付テ言ヘバ、是ハ假ニ段別割ニ肥料ヲ何スルコトニナレバ多ク言ツタ方ガ得デスカラ多ク言ツタ方ガ得デスカラ出ナシカデハ少ク言ツタ方ガ得デスカラ少ク言ツタ方ハト云フヤウニ、人間ガ神様デナイノデアリカス、ソコノ所ノ政策的ノ考慮ト云フモノガ日本デハ餘リ入リ過ギテ居ルト私ハ思フデアリマス、サウ云フ點ハサウ云フ政策的ナ考慮ヲ入レズニ、實ハ正確ナ數字ヲ出シマス方ガ是ハ其ノ人達ノ爲ノミデナク、國民全體ノ結局ハ之ガ爲ニナルノデアリマシテ、縣ノ爲ニナルカト云フ低ク言ツテ來テ、縣ノ爲ニナルカト云ツタラ、私ハ決シテ縣ノ爲ニナルカト云フ、寧ろ全體ガ旨ク圓滑ニ行クコトニ依ツテ却テ正確ナ數字ヲ出シタ方ガ縣ノ爲ニモ消費者ノ爲ニモナルト思ヒマスガ、ソコガ永年ノ因習デナカ、正確ナモノガ出ナイノガ現狀デアリマス、是ハ何トカシテ直シテ戴キタイト思ヒマス、殊ニ自由經濟ノ時代ニ於キマシテモ、普通ノ農業關係ノ人達ハ、假ニ六千萬石ト出テ來レバ其ハ一割ナリニ割ナリト云フモノハ「アローワン」ガアツタノデアリマシテ、ソレハ一ツニハ農家ノ方ノ心理カラ言ツテ、日本デ永イ間物納ノ小作料ト云フヤウナ形ノモノガアツタノデ、米ノ收穫高其

ノ他物納ノモノニ付テハドウモ低ク減免關係デ行クコトガ骨ノ體迄透ミ透ツテ居ル、處ガ「キヤッシュ・クロッパ」ノ方ハ、例ヘバ薩ノ如キハ自分ガ不作ト云フコトニナルト、是ハ近所隣ニ顔向ケガ出來ナイト云フノデ、ドウモ高ク出テ來ルト云フヤウナ關係ガアツタ譯デス、私ハ是ハ矢張り科學的ナ方法デヤラナクバナラヌト思フ一ツノ何ハ、矢張り農業氣象ト云フモノヲモウ少し是ハ政府トシテ完備シタイト思フデアリマス、地方々々ノ農業氣象ト云フモノノ觀測其ノ他ヲ完備致シマシテ、矢張り農業氣象ト收穫高ト云フモノ「データ」ヲモット正確ニ蒐メマシレバ、是ハ其ノ時ノ肥料ノ供給デアルトカ、設備具其ノ他ノ經濟的ナ要素ノ供給ガ不變ト云フコトヲ前提ニシマスレバ、是ハ可ナリ農業氣象ト其ノ他ノ關係ガ言ヘバ、機械的ト言ツテハ語弊ガアリマスガ、科學的ニ出テ來ルノデハナイカト思ヒマス、今年ハ一應サウ云フ考ヲ採リ入レタノデアリマス、ソレデ農林省ガ今割當ラツテ居リマスガ、其ノ總生産高ト云フモノハ其ノ他ノ「ソレデ」デアリマセヌガ、其ノ他色々ノ調査ヲ「データ」ニシテ綜合的ニ判斷ラ下シテ、農林省ハ幾ラ幾ラト斯ウ云フ數字トシテ縣ト交渉シテ居ル、斯ウ云フ風ニナツテ居ル次第デアリマス、ソレカラ第二點ノ日本ノ食糧內容ガ非常ニ米麥ニ偏シテ居ツテ、綜合的ナ營養ノ點カラ缺ケテ居ルト云フコトハ是ハ私モ至ク御同感デアリマス、併シ色々サウ云フ意見ガアリマスノデ、考ヘテ居リマスガ、之ヲドウ改善スルカト云フコトハ實際ムヅカシイノデアリマス、例ノ國家主義者デアル「ナチス」ノ「アントン・チエス

カ」ガ科學ハ獨占ヲ破ルト云フ本ヲ書イテ居リマスガ、矢張り其ノ點ニ付テ、或程食糧部分の非常ニ豐富デアツタモ、食生活自體ガ偏ツテ居レバ何ニモナラナイト云フコトヲ強ク主張シテ居ラレルト云フ前ニ讀ミダコトガアリマス、其ノ點デ我々ノ經驗トシテ考ヘルノハ、確力不況ノ時ニヤリマシタ榮養食ノ問題ダト思ヒマス、サウ云フ集團的ナ給食ニナリマスレバ、其ノ點ガ比較的私ハヤリ易イト思ヒマスガ、ソレヲ個々ノ家庭ニ於テ食生活ノ内容ヲ改善サスルト云フコトニナルト、先ヅ主婦ノ頭ヲ替ヘ、夫ノ頭ヲ替ヘ、子供ノ長イ間ノ食生活ヲ變ヘテ行クト云フコトデハ是ハヤリナクバナラヌデセウガ、非常ニ困難性ヲ伴フデアリマス、急激ナル結果ハナカ、得ニクイノデハナカ、將來ハサウ云フ榮養食其ノ他ハ公衆食堂ノヤウナ所デ漸次改善シテ行ク、集團的ニ物ヲ考ヘテ行ツタ方ガ案外樂デヤナイカト思フデアリマス、是ハハマダホンノ試案デアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付テハ十分色々ノ御意見ヲ聽イタ上デ是非何トカヤツテ行キタイ、幸ニ食糧ガ窮乏ニナリマシタノデ、日本人ノ食生活ガ實質的ニ變ツテ來テ居ル譯デアリマス、固ヨリ其ノ變リ方ガ好イ變リ方カドウカハ、脂其ノ他蛋白質供給ガ少イノデアリマスカラ、貧弱ニナツテ變ツテ居ル譯デアリマスガ、サウデナクモット豐富ニシ、御意見ノヤウナ方ニ是非持ツテ行キタイト思ヒマス、サウスレバ主食ノ數並モ少クテ濟ム譯デアリマスシ、色々ノ點デ好都合カト思ヒマスノデ、其ノ點ハ今後ノ研究問題或ハ實際ノ施設ノ上ニ出來ルダケヤツテ見タイ、斯ウ考ヘテ居リマス

○政府委員(補見義男君) 粉食ニ關シマシテ、粉ノ試驗ノ問題デアリマス、現在迄ノ所計畫のニ粉ノ試驗、検査ト云フヤウナモノハ實ハヤツテ居リマセヌ、先程大臣カラ申上ゲマシタ通り將來粉食ノ問題ガ大々のニ探上ゲラレテ行クト云フ場合ニハ當然隨伴シテ起ル問題デアラウカト思ヒマスガ、現在ノ所ハ今申シマスヤウニ計畫のニハゴザイマセヌ、唯ヤツテ居リマスコトハ、是モ今後情勢ガ變ルト思ヒマスガ、本食糧年度ニ於テ未利用資源ト云フ問題ヲ探上ゲタノデアリマス、其ノ際ニ勿論粉物ニ付テハ當然未利用資源ノ中カラ外シテ居リマス、サウデナイモノニ付テ、纖維素ノ多イモノハ消化器ヲ害シ、又人體ニモ有害デアリマスノデ、纖維素ノ多イモノハ未利用資源トシテ政府ノ取扱モノニ含マセナオ、斯ウ云フヤウナ觀點カラシテ、纖維素ノ點ヲ縣ノ「ソレ」ノ衛生試驗所ノヤウナ所デ檢討シテ貰ヒマシテ、サウシテ其ノ一定ノ量ヨリ少イモノデケラ未利用資源トシテ取扱フト云フヤウナコトヲ致シタコトハアリマス、此ノ問題ハ未利用資源全體ノ、今後ノ食糧事情等ノ觀點カラ見マシテ、原則トシテハ本年考ヘテ居リマシタヤウナ甘藷葉トカ其ノ他ノ未利用資源ハ本來ノ肥料飼料ニ還元シタイト考ヘテ居リマスノデ、此ノ問題モ本年限リニ終ルコトガ多カラウト思ヒマス、後ハ先程カラ問題ニナツテ居リマス具體的ノ毒物ノ化學的抽出試驗ト云フコトダケデアリマシテ、ソレ以外ノモノハ現在ノ所マデ考ヘテ居リマセヌ、以上デアリマス

○林善雄君 今ノ未利用資源ノ話デスガ、本當ノ食糧以外ノモノハ混ゼナイト云フナラバ何デスカ、當ヲ殖スダケノ未利用資源ガ随分多イノデス、尙先程農林大臣カラ食改善ノ話ガアツタガ、個々ノ人ノ食ノ改善ト云フコトヲ農林省デ何シテ戴クト云フ必要ハナイ、日本ノ國土デ出スルコトガ出來ルベキ榮養素ヲ產出スルコトガ出來ルカ、例ヘバ甘藷ヲ北海道ニ入レ、馬鈴薯ヲ九州ニ植エルト云フヤウナコトヲスルトマルデ駄目ニナル、物ヲ育タナイ所ニ育テヨウト云フノハ無理デス、實ハ私ノ關係シテ居ル財團デ、山梨縣ノ「メー」ノ高地ノ開拓ヲ今年度カラ始めマシタ、サウシテサウ云フ高トガ如何ニ人間ニ榮養素ヲ與ヘルコトガ出來ルカト云フ模範ヲ示シタイ、無論ハ作レズ、麥モ或ハムヅカシイケレドモ、チヤント人間ヲ育テルコトガ出來ル榮養素アルモノヲ作リタイト云フノデ、今年木ヲ伐ツテ始めマシタ、是ハハマダ出來上ツテ居ラヌノデ農林大臣ニ自慢ヲ申上ゲル譯ニ行カナイガ、私モ其ノ内行ツテ見ヨウト思ツテ居リマス、日本ノ國土狹シト雖モ、探セバ出來ル所ガ澤山アルト思フ、唯無暗ニ、今迄種ヲ植エテ居ツタノ止メテ米ヲ作ルト云フヤウナ計畫デハ逆モ駄目デ、是ハ專門家ノ知識ヲ得ナケレバナリマセヌ、實ハ學術振興會ニハ總テノ權威ノ方ガ集ツテ其ノコトヲ研究シテ居リマス、學者ガ集ツテヤツテ居ルトデアリマスカラ、實際ソレハ駄目ト云フコトニナルカモ知レマセヌガ、サウデナイヤウニヤル積リデ居リマス、増産ニハ矢張りサウ云フ分並、詰リ並ノ問題ノ増産ト同時ニ質ノ増産ハコトヲ御研究願ヒタイ、ソレデケラ私ハ申上ゲテ置キマス

○委員長(伯耆黒田清君) 實ハ今日ノ午後ハ農林大臣、農林次官ハ已ムヲ得

ザル用事ガアツテ委員會ニ御出席願ヘ
マセヌコトニナツテ居リマス、幸ヒ資
料ヲ御手許ニ配付スルコトガ出來マシ
タカラ、今日ノ午後ハ休ミマシテ、明
日午前十時ヨリ開會致シマス、今日ハ
是デ散會致シマス

午前十一時十九分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒田 清君
副委員長 男爵佐竹 義履君
委員

侯爵大久保利謙君
侯爵前田 利建君
子爵今城 定政君
子爵秋田 重季君
子爵土屋 尹直君
子爵井上 勝英君
林 春雄君
男爵稻田 昌植君
男爵前島勘一郎君
中村藤兵衛君
山崎 延吉君
原田 讓二君
名古屋三吉君

國務大臣

農林大臣 和田 博雄君

政府委員

農林次官 楠見 義男君
農林事務官 坂田 英一君

昭和二十一年十月二十一日印刷

昭和二十一年十月二十二日發行

貴族院事務局

印刷者 印刷局